

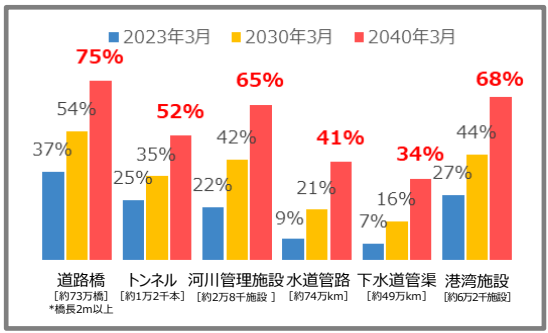
本日も議論いただきたい事項

地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)の推進

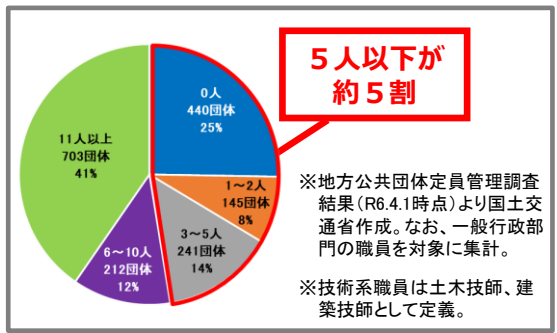
「群マネの手引き」公表の
記者発表資料(R7.10.14)

○ 技術系職員に限られる中でも、的確なインフラメンテナンスを確保するため、**複数自治体のインフラや複数分野のインフラを「群」として捉え**、効率的・効果的にマネジメントしていく「**地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)**」を推進。

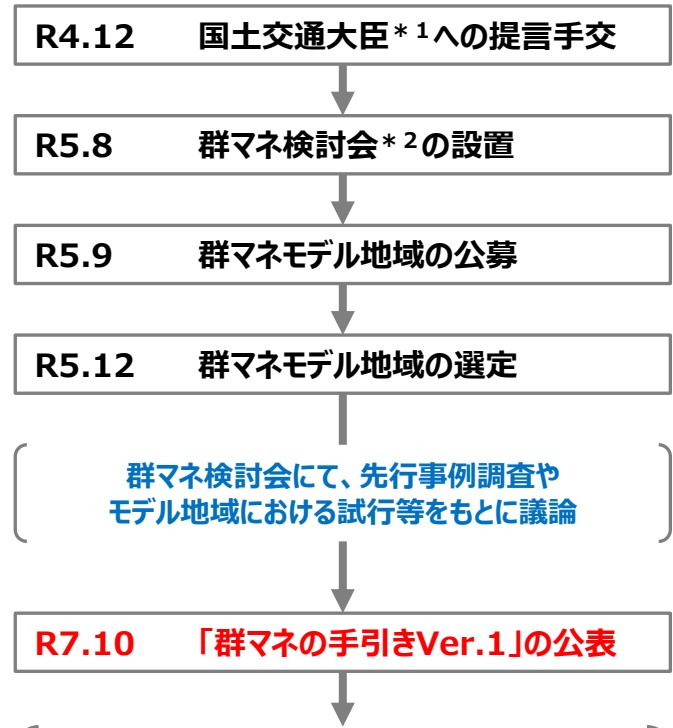
「インフラメンテナンスを巡る課題」
＜建設後50年以上経過する社会資本の割合＞



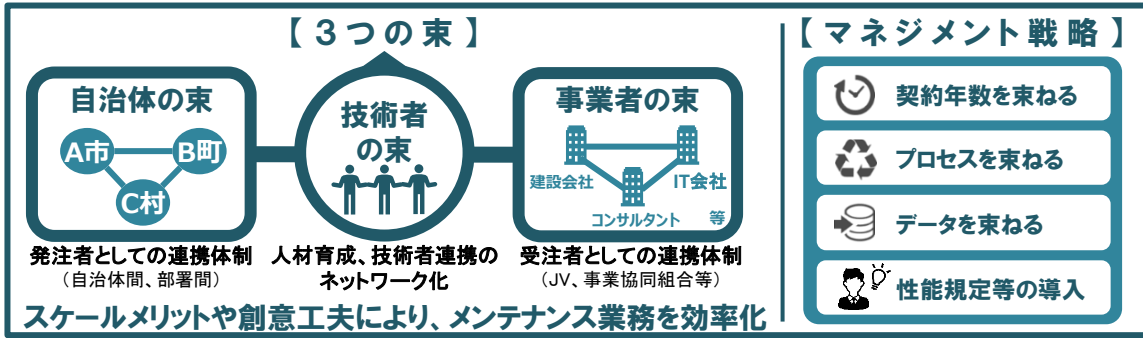
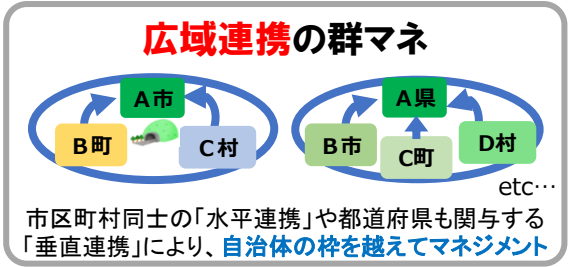
＜市区町村における技術系職員数＞



「施策検討と全国展開の流れ」



「地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)の概要」



- 「群マネの手引きVer.1」を用いた普及活動 (自治体説明会等)
 - 「群マネの手引きVer.2」の策定に向けて、既存事例が乏しいスキームを含めた更なる議論
- * 1 : 社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会『総力戦で取り組むべき次世代の「地域インフラ群再生戦略マネジメント」～インフラメンテナンス第2フェーズへ～』
- * 2 : 「地域インフラ群再生戦略マネジメント計画策定手法検討会」及び「地域インフラ群再生戦略マネジメント実施手法検討会」

○「群マネの手引きVer.1」では、群マネの概念や期待される効果を紹介した上で、群マネの類型や先行事例、実施プロセス、計画策定の考え方等を解説することで、導入検討から実践までサポート。



目次

1 インフラメンテナンスの「見える化」

- 全国の「見える化」
- 自治体毎の「見える化」

全国や自分のまちは
どういう状態？

2 群マネのコンセプト

- インフラメンテナンスの現場の苦悩
- 群マネの概念と目指す姿
- 先行事例における効果の声
- 「群マネ」と「東」

「群マネ」って
なに？

3 群マネのメニュー

- 群マネの類型
- 先行事例（広域連携、多分野連携、プロセスの東）
- キーワード解説

「群マネ」の
具体例はある？

4 群マネの実施プロセス

- 標準的なステップ
- 各ステップのQ&A
- 群マネを進める上での心得
- 先行事例におけるエピソード（苦労話など）

具体の一步を
どう踏み出せばよい？

5 群マネの計画策定

- 群マネの計画策定で検討すべき項目
- 自治体計画への位置づけ方法

「群マネ」を進めるため
に何を決める？

6 人の群マネ（技術者の東）

- 「人の群マネ」について
- 全国や各地域の取組例

「群マネ」の素地は
どのように作る？

「群マネの手引き」の普及活動

○ 手引き公表後、自治体や業界関係の各種勉強会等にて、群マネの手引きを解説。

No.	開催日	対象地域	主催者等	勉強会等名	主な対象者		
					自治体	事業者	その他
1	2025.10.16	オンライン	(公財)損害保険事業総合研究所	サステナビリティ講演会2025 「持続可能なインフラメンテナンスの実現に向けて」			損害保険業界
2	2025.10.31	関東	群馬県建設技術協会	群馬県建設技術協会 講演会	○	○	
3	2025.10.31	近畿	インフラメンテナンス国民会議	インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラムシンポジウム 「インフラメンテナンスにおける自立的な自治体支援を考える」	○	○	
4	2025.11.6	全国	全国建設技術センター等協議会	全国建設技術センター等協議会 全国会議			建設技術センター
5	2025.11.11	全国	(公財)溶接接合工学会振興会	セミナー 「省人化・低コスト化に対応したインフラマネジメントの方向性」	○	○	
6	2025.11.12	北陸	富山県	インフラメンテナンスに関する勉強会	○		
7	2025.11.13	オンライン	日立システムズ(協力:自治体通信)	セミナー 「AI活用で進化する！持続可能なインフラ維持管理の未来像」	○		
8	2025.11.17	北海道	インフラメンテナンス国民会議	インフラメンテナンス市区町村長会議 北海道フォーラムシンポジウム 「地方インフラのこれからを考える」	○	○	
9	2025.11.21	四国	インフラメンテナンス国民会議	インフラメンテナンス市区町村長会議 四国ブロック会議	○	○	
10	2025.11.24	全国	土木学会	第72回土木計画学研究発表会・秋大会(企画提案型) 「総力戦時代を迎えるインフラマネジメント」	○	○	学識者
11	2025.11.26	東北	秋田県大館市	インフラ群の包括的民間委託実践発表会 「暮らしを支えるインフラ堅持の取り組み」	○	○	学識者、短大生
12	2025.11.28	全国	国土交通省	国土技術研究会 「群マネ、知ってる？ 新たなヒーローは動いている」	○	○	
13	2025.12.2	オンライン	(一社)行政エンジニア支援機構 SORAE(そらゑ)	行政エンジニアに教えてよ「みんなが気になる群マネの手引きとは」	○	○	
14	2025.12.4	近畿	財務省近畿財務局	財政融資資金地方資金の借入等の手引きに関する説明会 (第1部 効率的な公共施設マネジメントに係る情報提供)	○		
15	2025.12.11	全国	インフラメンテナンス国民会議、 日本経済新聞社、日経BP	社会インフラテック2025 「常識に縛られるな！群マネは、自由だ！」	○	○	
16	2025.12.23	九州	インフラメンテナンス国民会議	インフラの包括的維持管理の実装に向けた自治体支援セミナー	○		
17	2025.12.24	九州	長崎県長崎市	長崎県内市町村群マネ勉強会	○		
18	2025.12.24	東北	インフラメンテナンス国民会議	インフラメンテナンス市区町村長会議 東北ブロック会議	○	○	

(参考) 群マネの説明会・勉強会の例

- 堀田先生、大館市長、JV企業、短大生、市若手職員による実践発表会(秋田県大館市)

インフラ群の包括的民間委託 実践発表会

〇市道早口線 面的舗装修繕工事 (大館西地域JV)

「暮らしを支えるインフラ堅持の取組み」
～人口が減少しても幸せを導くまちへ～

◎基調講演(群マネ実施手法検討会委員)
堀田 昌英 教授(東京大学大学院)
～群マネモデル都市「各おだて」の現状と課題、未来～

◎報告発表(東京大学大学院工学系研究科 社会通論学専攻)の発表
◎基調講演「暮らしを支えるインフラ堅持の取組み」の発表
◎研究発表「暮らしを支えるインフラ堅持の取組み」の発表
◎研究発表「暮らしを支えるインフラ堅持の取組み」の発表

◎次章
〇開会挨拶
大館市長 石田 健佑 「群マネの取組みを更に官民連携と住民参加の拡大、発展へ」
大館市建設委員会 会長 平和建設(株) 堀田 健一 「各おだての取組みを更に官民連携と住民参加の拡大、発展へ」
〇政策紹介 国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 調整官 岩館 慶多
「人手不足時代にきて立ち向かう」群マネ、全国展開へ」

〇東西報告
大館市建設委員会 会長 平和建設(株) 堀田 健一 「各おだての取組みと今後の展開」
大館市建設委員会 会長 平和建設(株) 堀田 健一 「各おだての取組みと今後の展開」
大館市建設委員会 会長 平和建設(株) 堀田 健一 「各おだての取組みと今後の展開」

〇日時 令和7年11月26日(水) 13:30～16:00 入場無料
〇会場 秋田職業能力開発短期大学校 207 教室
〇お問い合わせ 大館市建設委員会 事務局 電話 0186-43-7079

堀田教授

石田大館市長

建設委員会会長

岩館調整官

南地域JV

西地域JV

JV企業

短大生

市若手技師

ありがとうございました!

- 自治体職員との群マネ勉強会(富山県)
※付録編の分析ツールの使い方も解説



- 植野委員と群マネモデル地域が登壇したパネルディスカッション(社会インフラテック)



- 群マネの手引きのオンライン解説会(そらふ)

12月2日(水) 13:00～14:00

作成者の同志に聞いてみた

STEP2 実施方針の検討 「期待される効果」を整理しよう(効果の試算も含む)

Q 「導入効果はどのように試算する？」

A ・不確定要素が多く、大體の推定となることに留意しつつ、付録編【導入効果の試算ツール】を活用して、事業導入による直営対応時間の変化(アウトソーシング等による削減)や委託金額の変化を想定することで、「直営+委託」のトータルコストを比較できます。
・なお、直営対応時間は、人員費単価を設定することで、両者換算が可能です。

用意するデータ

- ①委託金額の変化想定
- 現状の委託金額
- 来年度後の委託金額
- ②直営対応時間の変化想定
- 現状の直営対応時間
- 来年度後の直営対応時間

設定する項目

- 直営対応時間を両者換算するための人員費単価

アウトプット

導入効果試算シート(●●町)

●トータルコストの変化

項目	直営	委託	両者換算
現状	現状	現状	現状
導入後	削減	削減	削減

Teams で

1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

【群マネの手引きVer.1】 P31

次回以降の検討テーマ案

- 群マネの全国展開に向けて、「群マネの手引きVer.1」と連動して、「見える化」や「人の群マネ」の具体化を進めるとともに、「群マネの手引きVer.2」に向けて、既存事例の乏しいスキームの適用方法の具体化等の検討を進める。

【合同検討会のテーマ案】

- ◎ 群マネ推進の担い手との意見交換（自治体、業界団体、民間事業者等）
- ◎ モデル地域の成果報告
- ◎ 計画・実施両検討会の議論共有 →「群マネの手引きVer.2」に向けた検討

【計画検討会のテーマ案】

- ◎ 「全国自治体のインフラメンテナンス見える化」に向けた検討
- ◎ 「人の群マネ」の推進に向けた検討
- ◎ 広域連携による計画策定方法の検討（県と市町村が連携した橋梁の集約撤去計画の策定等 ※モデル地域:和歌山県）

【実施検討会のテーマ案】

- ◎ 道路分野等における広域連携スキームの適用方法の検討（地方自治法の一部事務組合、協議会等）
- ◎ 埋もれた制度の拡大方法の検討（フレームワーク方式等）
- ◎ 群マネ契約におけるインセンティブ設計方法の検討

※上記と連動させながら、モデル地域の検討状況の発表及び助言を実施。

令和5年度～

先行事例やモデル地域における試行等をもとに議論



令和7年10月14日

「群マネの手引き Ver.1」の公表



- 手引きVer.1を用いた普及活動(自治体説明会等)
- 既存事例が乏しいスキームを含めた更なる議論
- モデル地域の成果とりまとめ(中間報告、成果報告会)



「群マネの手引き Ver.2」の公表

群マネモデル地域の検討状況(R7.12.18時点)

[群マネモデル地域の対象分野・ポイント]

●: 広域連携(複数自治体)での検討 ○: 多分野連携(単独自治体)での検討

類型		自治体	道路	河川	公園	下水道	その他	モデル地域としてのポイント
広域連携	① 垂直連携	和歌山県 (他1市3町)	●	—	—	—	—	・県と1市3町の垂直連携(橋梁の集約再編計画を共同策定) ※県道と市町道のペアでの機能検討も ⇒R7年度 県と1市3町共同で計画策定予定
		広島県 (他2町)	●	—	—	—	—	・県と2町の垂直連携(県道・町道の日常維持管理) ⇒R8年度 具体的な業務発注に向けた調整を開始予定(対象エリアの確定等)
	② 水平連携	北海道幕別町 (他1町)	● ○	○	○	—	—	・2町の水平連携(橋梁の点検・設計・計画策定、除雪管理システムのデータ連携等) ・幕別町単体での多分野連携(道路+河川+公園の日常維持管理等) ⇒R8年度 協定締結や発注手続き等を予定(R9年度の実施に向けて) ⇒R9年度 窓口業務の広域連携も検討
		大阪府貝塚市 (他7市4町)	●	—	●	●	—	・12市町の水平連携(道路、公園、下水道それぞれの業務実施) ⇒R7年度 モデル事業を実装(道路:ドラレコを活用したAI道路点検(12市町)、公園:遊具点検(2市)、下水道:事業所排水規制業務(9市町)) ⇒R8年度以降 業務拡大も検討(道路附属物点検、遊具修繕等)
		兵庫県養父市 (他2市2町)	●	—	—	—	—	・水平連携(橋梁の一括管理:修繕設計・修繕工事) ⇒R8年度 業務発注予定(一部市町に限定した先行発注を想定)
		奈良県宇陀市 (他3村)	●	—	—	—	—	・1市3村の水平連携(橋梁の一括管理:点検・修繕設計・修繕工事)※CM方式の活用視野 ⇒R7年度 試行業務(橋梁点検(3市村))を発注 ※R8年度 点検・設計・工事(管理・支援)業務の共同発注(1市3村)
		島根県益田市 (他2町)	●	—	—	—	● (農林道)	・1市2町の水平連携(農林道含む橋梁・トンネルの一括管理:点検・修繕設計) ⇒R7年度 橋梁点検(1市2町)を発注 ※R8年度 設計業務も追加検討
		秋田県大館市	○	○	○	○	○ (農林道)	・多分野連携(道路(農林道含む)+河川+公園の日常維持管理) ⇒R7年度 大館西地域で業務開始 ⇒R8年度 下水道(雨水幹線、都市下水路の浚渫)も包括化(大館東地域で発注手続き中)
③ 多分野連携		滋賀県草津市	○	○	○	—	—	・多分野連携(道路+河川の日常維持管理) ※公園は長期的に検討、下水道は別途ウォーターPPPを検討中
		広島県三原市	○	○	○	—	—	・多分野連携(道路+河川+公園の日常維持管理) ⇒R8年度 業務発注予定(併せて、維持管理DXに向けてR7年度から発注手続き予定:住民からの要望受付から修繕指示までのプロセスを、一元管理するシステムを導入)
		山口県下関市	○	○	—	○	○ (臨港道路)	・多分野連携(道路(跨線橋含む)+河川の日常維持管理) ※将来的に臨港道路や下水道の包括化も検討

【モデル地域の検討状況に対する助言等】

⇒モデル地域の取組を後押しするために、モデル地域の検討状況や相談事項等に対してご助言を頂きたい。

【モデル地域の検討状況に対する質問等】

⇒手引きVer.2へモデル地域の成果を掲載していくに当たって、モデル地域の検討状況等へご質問やご意見を頂きたい。